



- 辛亥革命100周年を記念し、中国武漢市に「辛亥革命博物館」と「中山艦博物館」が新たに開館。
- その両館にそれぞれ「辛亥革命と長崎」「中山艦と長崎」をテーマとする長崎県コーナーを設置。



武漢市辛亥革命博物館



武漢市辛亥革命博物館
・長崎県コーナー



武漢市辛亥革命博物館・長崎県コーナー
(2013年10月から)



武漢市中山艦博物館



武漢市中山艦博物館・長崎県コーナー
(2013年10月から)

1. 辛亥革命博物館

(2011年10月8日開館)

概要

- 「辛亥革命」をテーマとする博物館
- 建築総面積 2.2万㎡
- 地上3階地下1階建て
- 展示面積：約7,000㎡
- 長崎県を紹介するコーナーとして、1階閲覧室約250㎡に展示

展示内容

- 展示名：「孫文・梅屋庄吉と長崎」展
- 構成：「孫文と梅屋庄吉」、「中国民主革命・孫文と長崎」、「現代の長崎」
- 写真、新聞記事、説明パネル、文物資料(12点)及び映像資料で展示。
- 「現代の長崎」では、現在の長崎県の概要、自然、街並み、食、観光地等を紹介。
- 展示期間：2011年10月11日～2012年3月(6ヶ月間)
※2012年4月以降は、パネルにて展示。

2. 中山艦博物館

(2011年9月26日開館)

概要

- 中山艦文化旅遊区(31.2ヘクタール。うち、10ヘクタールは湖水)の一角
- 建築総面積 約1.1万㎡
- 長崎県を紹介するコーナーとして、パネル(高さ2.1メートル×幅4.125メートル)で構成

展示内容

- 展示名：「孫文と梅屋庄吉ゆかりの地・長崎～中山艦が生まれた街～」
- 構成：「孫文と梅屋庄吉」、「中山艦と長崎」、「現代の長崎」
写真・パネルで構成
- 展示期間：2011年10月4日～